

「本庄市道の駅基本構想」を策定しました

「道の駅」の整備に向け、目的やコンセプト、課題等を整理した「本庄市道の駅基本構想」を策定しました。今後は策定した基本構想をもとに、関係機関等との調整・協議を進めていく予定です。



地域資源を活かした本市の魅力を発信・体感できる場所となることで、新たな地域活力と幸せを創出し、安全・安心に暮らせる防災拠点としての役割を果たすことを整備の目的としています。

○コンセプト

- 賑…個性豊かな賑わいの拠点
- 楽…地域住民と来訪者がともに楽しむ交流の拠点
- 挑…地域活力の創出拠点（チャレンジを応援）
- 防…安全・安心を担う防災の拠点

○ターゲット

地域住民及び県内や近隣他県からの来訪者、物流業従事者など、平日・休日問わず年間を通じ安定した集客を確保するため、多様な利用者を設定します。

○添付資料 （本庄市道の駅基本構想 概要版 1部）

問合せ先

○本件記事に関すること 経済環境部産業開発室 担当：福本、皆川

電話：0495（25）1169

○広報全般に関すること 企画財政部広報課 担当：谷田部

電話：0495（25）1155

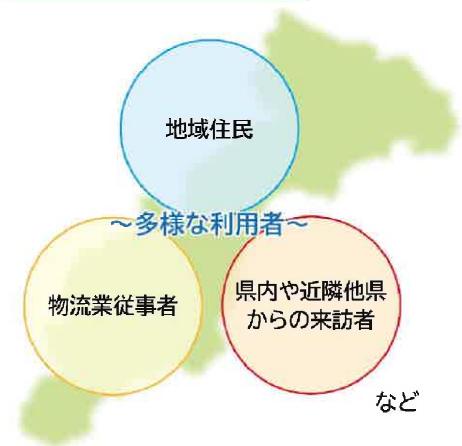
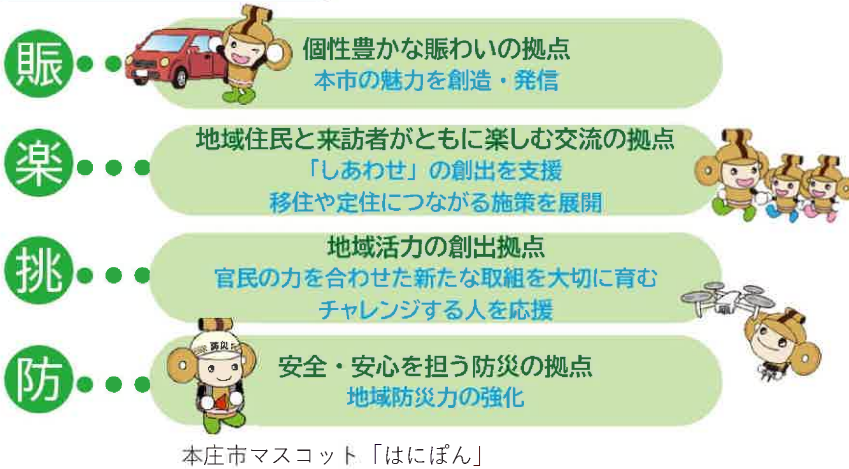
本庄市道の駅基本構想 概要版

1. 整備の目的とコンセプト・ターゲット

地域資源を活かした本市の魅力を発信・体感できる場所となることで、新たな地域活力と幸せを創出し、安全・安心に暮らせる防災拠点としての役割を果たすことを目的として、道の駅の整備を検討します。

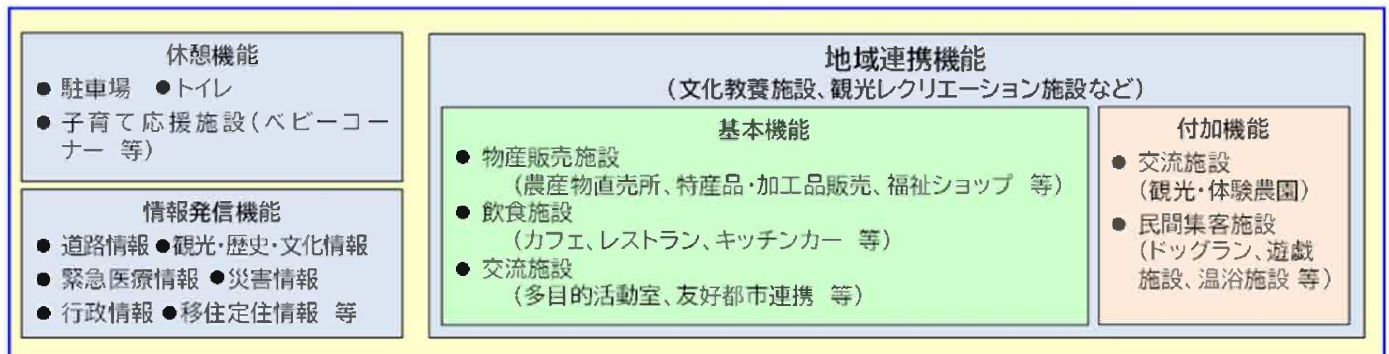
コンセプト

ターゲット

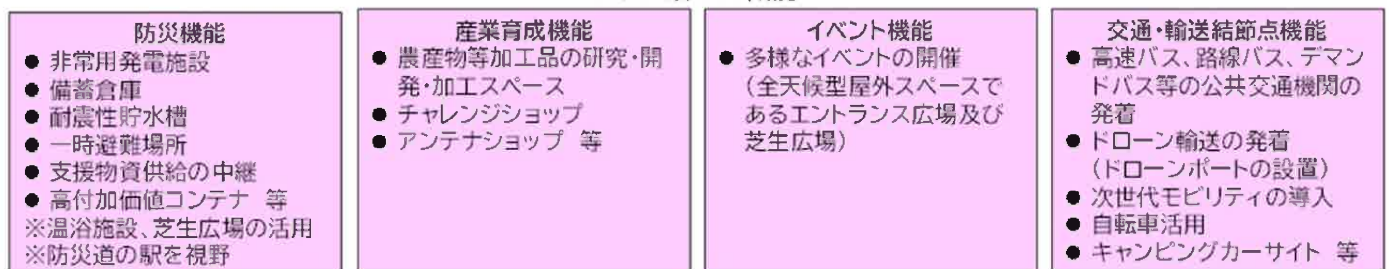


2. 導入機能と施設配置

道の駅の登録要件となる休憩機能、情報発信機能、地域連携機能のほか、道の駅を特徴づける交流施設、民間集客施設等の付加機能やコンセプトに沿った機能（防災、産業育成、イベント、交通・輸送結節点）の導入を検討します。配置は、アクセス性、機能連携、利便性を考慮したゾーニングとします。



コンセプトに沿った機能



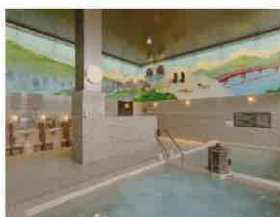
■各施設の導入イメージ

※機能を導入した場合のイメージであり、設置が確定したわけではありません。

■配置イメージ



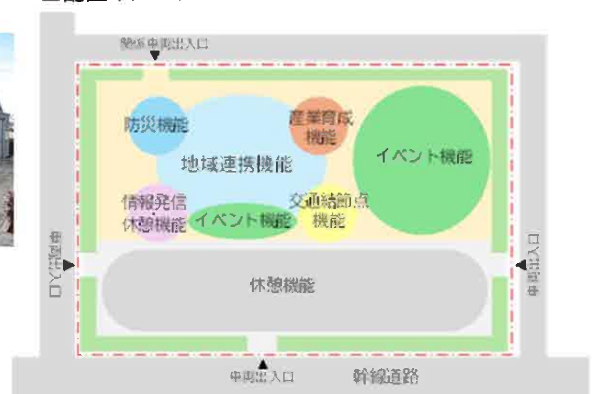
地域の伝統野菜などを揃えた直売所
(道の駅まえばし赤城)



災害時にも活用可能な温浴施設
(道の駅まえばし赤城)

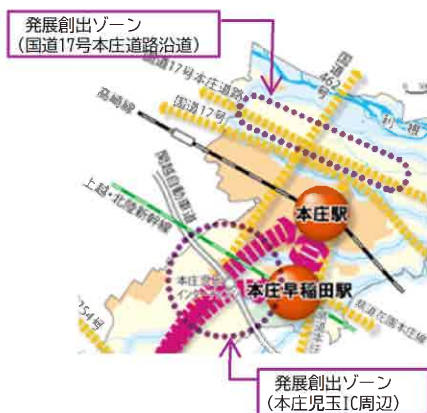


道の駅でのいちご狩り体験
(道の駅いちごの里よしみ)



3. 候補エリア

「本庄市総合振興計画後期基本計画」及び「本庄市都市計画マスタープラン」において設定されている「発展創出ゾーン」内、道路利用者の利便性や幹線道路からのアクセス性の良さなどから、交通量が多く用地確保の実現性も高い国道17号本庄道路又は国道462号沿道での整備を目指します。



■将来都市構造図



出典:本庄市都市計画マスタープラン2023

4. 施設規模

既存の技術基準や各事例を参考に検討します。

導入する機能に応じて3つの整備ケースに分類し、計画交通量が最小の約15,000台/日（国道462号本庄児玉IC付近）の場合と最大の約71,000台/日（国道17号本庄道路と国道462号交差箇所付近）の場合を想定し、各々の全体規模を算出します。

区分	面積					
	ケース1		ケース2		ケース3	
	ケース1-1	ケース1-2	ケース2-1	ケース2-2	ケース3-1	ケース3-2
交通量	約15,000台/日	約71,000台/日	約15,000台/日	約71,000台/日	約15,000台/日	約71,000台/日
駐車マス	約60台	約240台	約150台	約570台	約150台	約570台
【登録要件】 休憩機能 情報発信機能	約3,000㎡	約12,000㎡	約5,000㎡	約19,000㎡	約5,000㎡	約19,000㎡
【登録要件】 地域連携機能	約2,000㎡	約3,000㎡	約9,000㎡	約10,000㎡	約9,000㎡	約10,000㎡
《コンセプトに沿った機能》 防災機能 産業育成機能 イベント機能 交通・輸送結節点機能	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	約11,000㎡	約11,000㎡
施設面積計	約5,000㎡	約15,000㎡	約14,000㎡	約29,000㎡	約25,000㎡	約40,000㎡
調整池、緑地、 敷地内通路など	約3,000㎡	約7,000㎡	約7,000㎡	約15,000㎡	約12,000㎡	約20,000㎡
合計	約8,000㎡	約22,000㎡	約21,000㎡	約44,000㎡	約37,000㎡	約60,000㎡

■整備ケース

ケース1

基本的な登録要件（休憩機能、情報発信機能、地域連携機能）のみを有する道の駅

ケース2

ケース1の導入機能に、地域連携機能（交流施設と民間集客施設）を加えた道の駅

ケース3

ケース2の導入機能に、コンセプトに沿った機能を加えた道の駅

5. 事業スケジュール（案）

現時点では国・県との調整に加え、地域住民への説明や工事時期との調整など、様々な変動要因が考えられます。

このため、道の駅の開業を概ね10年後と仮定し、スケジュールを想定します。

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	最終年度
調査・計画・設計	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
官民連携（PPP）			■	■	■	■	■	■	■	■
用地関連			■	■	■	■	■	■	■	■
工事関係								■	■	■
関連法令手続		■	■	■	■	■	■	■	■	■

開業